

表3 体重別にみた生存期間の終りの時点までの病死による累積死亡率（/1000出生） <1995-1998年>

死因	7日未満	28日未満	3ヵ月未満	6ヵ月未満	9ヵ月未満	1年未満
<b>&lt;1000g</b>						
周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害	74.457	85.080	87.995	91.097	93.823	96.268
周産期に特異的な感染症	11.375	23.409	24.913	24.913	24.913	24.913
胎児及び新生児の出血性障害及び血液障害	31.494	40.237	41.647	41.647	41.647	41.741
その他の周産期に発生した病態	32.528	48.510	52.646	53.305	53.587	53.681
先天奇形、変形及び染色体異常	22.563	32.622	36.758	38.263	39.203	39.767
敗血症	0.000	11.751	18.990	20.212	20.965	21.153
心疾患	3.102	4.042	4.983	5.171	5.453	5.923
肺炎	0.000	1.692	3.384	3.760	3.948	4.042
乳幼児突然死症候群	0.094	0.094	0.188	0.846	1.128	1.504
その他の病死	1.222	11.939	20.871	23.691	26.135	27.827
<b>1000-1499g</b>						
周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害	11.420	12.767	13.575	14.167	14.383	14.437
周産期に特異的な感染症	1.885	3.448	3.717	3.878	3.878	3.932
胎児及び新生児の出血性障害及び血液障害	4.256	5.872	5.979	5.979	5.979	5.979
その他の周産期に発生した病態	3.286	4.740	5.279	5.495	5.656	5.656
先天奇形、変形及び染色体異常	20.416	26.934	31.459	33.991	35.176	35.822
敗血症	0.000	0.593	1.508	1.885	1.885	1.885
心疾患	0.862	1.077	1.293	1.562	1.670	1.832
肺炎	0.000	0.162	0.485	0.754	0.970	1.185
乳幼児突然死症候群	0.000	0.000	0.431	1.347	2.101	2.209
その他の病死	0.269	1.239	2.370	3.017	3.825	4.094
<b>1500-1999g</b>						
周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害	3.697	4.146	4.371	4.473	4.493	4.493
周産期に特異的な感染症	0.490	0.694	0.735	0.756	0.756	0.756
胎児及び新生児の出血性障害及び血液障害	0.899	1.164	1.205	1.205	1.205	1.205
その他の周産期に発生した病態	1.287	1.654	1.777	1.818	1.838	1.838
先天奇形、変形及び染色体異常	10.682	14.358	17.605	20.179	21.363	21.853
敗血症	0.000	0.061	0.143	0.266	0.327	0.327
心疾患	0.163	0.245	0.327	0.408	0.551	0.674
肺炎	0.000	0.020	0.266	0.490	0.633	0.837
乳幼児突然死症候群	0.020	0.061	0.347	0.980	1.164	1.389
その他の病死	0.266	0.347	0.817	1.348	1.838	2.206
<b>2000-2499g</b>						
周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害	0.948	1.047	1.064	1.071	1.074	1.081
周産期に特異的な感染症	0.082	0.126	0.136	0.143	0.147	0.150
胎児及び新生児の出血性障害及び血液障害	0.170	0.211	0.225	0.228	0.232	0.232
その他の周産期に発生した病態	0.246	0.297	0.324	0.341	0.344	0.355
先天奇形、変形及び染色体異常	1.712	2.568	3.457	4.054	4.334	4.525
敗血症	0.000	0.027	0.072	0.085	0.089	0.099
心疾患	0.044	0.072	0.123	0.184	0.201	0.225
肺炎	0.000	0.007	0.038	0.085	0.109	0.147
乳幼児突然死症候群	0.034	0.051	0.276	0.511	0.621	0.661
その他の病死	0.044	0.109	0.266	0.460	0.610	0.730
<b>2500g-</b>						
周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害	0.199	0.214	0.219	0.222	0.223	0.225
周産期に特異的な感染症	0.012	0.019	0.020	0.020	0.021	0.021
胎児及び新生児の出血性障害及び血液障害	0.025	0.030	0.032	0.032	0.032	0.033
その他の周産期に発生した病態	0.051	0.060	0.067	0.069	0.070	0.071
先天奇形、変形及び染色体異常	0.182	0.323	0.460	0.548	0.605	0.638
敗血症	0.000	0.003	0.008	0.011	0.014	0.016
心疾患	0.011	0.019	0.035	0.053	0.065	0.074
肺炎	0.000	0.004	0.012	0.025	0.036	0.044
乳幼児突然死症候群	0.019	0.036	0.130	0.240	0.284	0.303
その他の病死	0.012	0.034	0.084	0.144	0.195	0.246

表4 体重別にみた生存期間別の病死による死亡率

(／1000出生・週)

&lt;1995-1998年&gt;

死因	7日未満	7日～28日 未満	28日～3ヵ月 未満	3ヵ月～6ヵ 月未満	6ヵ月～9ヵ 月未満	9ヵ月～1年 未満	計
<b>&lt;1000g</b>							
周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害	77.375	4.330	0.436	0.337	0.300	0.272	1.940
周産期に特異的な感染症	11.441	4.909	0.225	0.000	0.000	0.000	0.484
胎児及び新生児の出血性障害及び血液障害	32.000	3.559	0.211	0.000	0.000	0.010	0.817
その他の周産期に発生した病態	33.069	6.535	0.619	0.071	0.031	0.010	1.057
先天奇形、変形及び染色体異常	22.821	4.098	0.619	0.163	0.103	0.063	0.778
敗血症	0.000	4.793	1.086	0.133	0.083	0.021	0.410
心疾患	3.107	0.381	0.140	0.020	0.031	0.052	0.114
肺炎	0.000	0.686	0.253	0.041	0.021	0.010	0.078
乳幼児突然死症候群	0.094	0.000	0.014	0.071	0.031	0.042	0.029
その他の病死	1.223	4.368	1.341	0.306	0.269	0.188	0.541
<b>1000-1499g</b>							
周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害	11.486	0.469	0.095	0.049	0.018	0.004	0.279
周産期に特異的な感染症	1.887	0.544	0.032	0.013	0.000	0.004	0.076
胎児及び新生児の出血性障害及び血液障害	4.265	0.563	0.013	0.000	0.000	0.000	0.115
その他の周産期に発生した病態	3.291	0.507	0.063	0.018	0.013	0.000	0.109
先天奇形、変形及び染色体異常	20.627	2.277	0.532	0.208	0.098	0.054	0.699
敗血症	0.000	0.206	0.107	0.031	0.000	0.000	0.036
心疾患	0.862	0.075	0.025	0.022	0.009	0.013	0.035
肺炎	0.000	0.056	0.038	0.022	0.018	0.018	0.023
乳幼児突然死症候群	0.000	0.000	0.051	0.075	0.062	0.009	0.042
その他の病死	0.269	0.338	0.133	0.053	0.067	0.022	0.079
<b>1500-1999g</b>							
周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害	3.704	0.152	0.025	0.008	0.002	0.000	0.086
周産期に特異的な感染症	0.490	0.069	0.005	0.002	0.000	0.000	0.014
胎児及び新生児の出血性障害及び血液障害	0.899	0.090	0.005	0.000	0.000	0.000	0.023
その他の周産期に発生した病態	1.288	0.125	0.014	0.003	0.002	0.000	0.035
先天奇形、変形及び染色体異常	10.739	1.250	0.368	0.203	0.094	0.039	0.423
敗血症	0.000	0.021	0.009	0.010	0.005	0.000	0.006
心疾患	0.163	0.028	0.009	0.006	0.011	0.010	0.013
肺炎	0.000	0.007	0.028	0.018	0.011	0.016	0.016
乳幼児突然死症候群	0.020	0.014	0.032	0.050	0.015	0.018	0.027
その他の病死	0.266	0.028	0.053	0.042	0.039	0.029	0.042
<b>2000-2499g</b>							
周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害	0.948	0.033	0.002	0.001	0.000	0.001	0.021
周産期に特異的な感染症	0.082	0.015	0.001	0.001	0.000	0.000	0.003
胎児及び新生児の出血性障害及び血液障害	0.171	0.014	0.002	0.000	0.000	0.000	0.004
その他の周産期に発生した病態	0.246	0.017	0.003	0.001	0.000	0.001	0.007
先天奇形、変形及び染色体異常	1.713	0.286	0.099	0.046	0.022	0.015	0.087
敗血症	0.000	0.009	0.005	0.001	0.000	0.001	0.002
心疾患	0.044	0.009	0.006	0.005	0.001	0.002	0.004
肺炎	0.000	0.002	0.003	0.004	0.002	0.003	0.003
乳幼児突然死症候群	0.034	0.006	0.025	0.018	0.008	0.003	0.013
その他の病死	0.044	0.022	0.017	0.015	0.012	0.009	0.014
<b>2500g-</b>							
周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害	0.199	0.005	0.001	0.000	0.000	0.000	0.004
周産期に特異的な感染症	0.012	0.002	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
胎児及び新生児の出血性障害及び血液障害	0.025	0.002	0.000	0.000	0.000	0.000	0.001
その他の周産期に発生した病態	0.051	0.003	0.001	0.000	0.000	0.000	0.001
先天奇形、変形及び染色体異常	0.182	0.047	0.015	0.007	0.004	0.003	0.012
敗血症	0.000	0.001	0.001	0.000	0.000	0.000	0.000
心疾患	0.011	0.003	0.002	0.001	0.001	0.001	0.001
肺炎	0.000	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001
乳幼児突然死症候群	0.019	0.006	0.010	0.008	0.003	0.001	0.006
その他の病死	0.012	0.007	0.005	0.005	0.004	0.004	0.005

**厚生科学研究費補助金（子ども家庭総合研究事業）**  
**分担研究報告書**

研究報告書 Web ページ化の検討

分担研究者	澤口 聡子	東京女子医科大学医学部法医学教室助教授
	澤口 彰子	東京女子医科大学副学長・医学部法医学教室主任教授
研究協力者	北村 明子	東京女子医科大学医学部法医学教室

**研究要旨**

平成 10 年度から平成 12 年度の 3 年間に行われた厚生科学研究（子ども家庭総合研究事業）「乳幼児死亡率改善の為の研究」の研究業績の公開と乳幼児突然死症候群の啓蒙を目的として研究報告書の一部（目次、研究要旨および図表）と研究者リストを Web ページ化し、インターネットによるホームページ公開を行った。

本ホームページは、年度別による研究要旨および図表掲載の他、年度別研究者リストからの研究者別による研究分担一覧へのリンク。さらに研究者別研究分担一覧から研究要旨への相互リンクを可能とし、より簡便な情報検索を目標として構築した。

**A. 研究目的**

近年、Information Technology (IT) 革命と称される情報伝達技術の向上により世界規模の情報網の整備が進み、インターネット配信による情報公開、啓蒙等が盛んに行われている。今後更にこれらの傾向は増大し、新たな情報公開および研究交流の場として発展することは必至である。

平成 10 年度から平成 12 年度の 3 年間に行われた厚生科学研究（子ども家庭総合研究事業）「乳幼児死亡率改善の為の研究」の研究業績の公開と乳幼児突然死症候群の啓蒙を目的として、研究報告書の一部（目次、研究要旨および図表）を Web ページ化し、インターネット上にホームページ公開を行った。

**B. 研究方法**

平成 10 年度から平成 12 年度までの 3 年間にまとめられた厚生科学研究（子ども家

庭総合研究事業）「乳幼児死亡率改善のための研究」報告書集を掲載資料として用いた。

Web ページ作成は、Microsoft Word 98 および Adobe PageMill (R) 3.0J を用い、図表修正、加工は Adobe Photoshop (R) 5.5 およびクラリスドロー 1.0v1 を使用した。

ホームページに使用した GIF アニメーション、GIF カットおよび背景はインターネット上のフリー素材サイト (<http://www.miyabi-vs.co.jp/~mieko/sozai-top.htm>、<http://www.geocities.com/tokyo/Subway/7477/>、<http://www.tk.xaxon.ne.jp/~kitty/konekodou/>) より借用した。

ホームページは図に示したサイトマップを基準とした階層を持つサイトとして構築した。

**C. 研究結果**

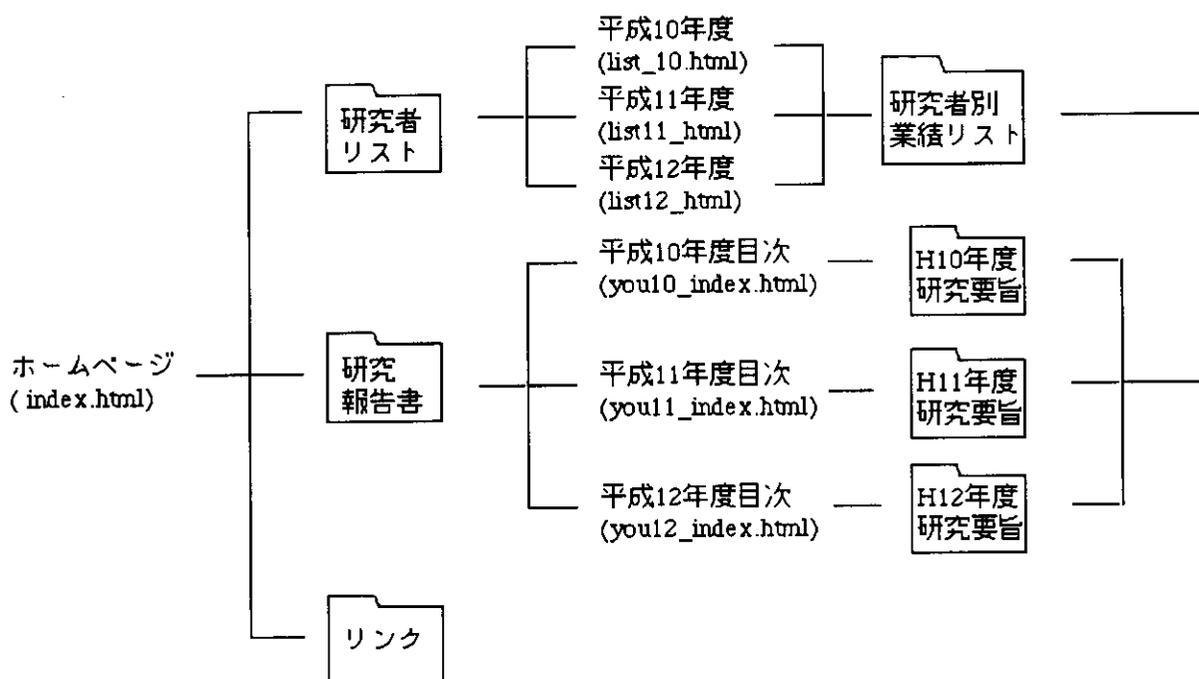
平成 10 年度から平成 12 年度までの 3 年

庭総合研究事業)「乳幼児死亡率改善の為の研究」の研究報告書を掲載資料としたホームページを構築した。

研究報告書は、国立公衆衛生院のホームページにて PDF 形式を用いたファイルが資料として公開されている。本ホームページでは、年度別による研究要旨掲載の他、研究者別による分類を行い、各要旨とリンクさせた。

本ホームページは、当初東京女子医科大学医学部法医学教室のホームページ (<http://www.twmu.ac.jp/legal-m/>) として公開管理し、以後 SIDS 学会のホームページに移行する。更に、日本 SIDS 学会家族の会および国立公衆衛生院のホームページとリンクする予定である。

図 研究報告書 Web ページのサイトマップ



厚生科学研究費補助金（子ども家庭総合研究事業）  
分担研究報告書

最新（1999-2000年）の SIDS の関連文献の検討

分担研究者：仁志田 博司（東京女子医科大学母子総合医療センター教授）

要旨

1999 年から 2000 年度の研究期間にインデックス・メディックス、医学中央雑誌およびメドラインにおいて、収集した英文 118、和文 35 の計 153 偏の SIDS 関連文献をまとめた。本邦からの SIDS 関連文献が増加しているが、エポックメイキングとなる新しいものは見られていない。これは、SIDS の研究が衰退したというよりは、予防キャンペーンにより、SIDS 発生頻度が近年大幅に減少し、その研究の成果が上がったとむしろ評価されるのかも知れない。しかし、SIDS の病態のおおよその姿は理解できるようになったが、まだその基本的な病態は不明なままであり、特に中枢神経系と自律神経系を介した呼吸心拍調節のメカニズムと本症の関係の解明は、21 世紀に託された課題と受け止められている。

1. 疫学

SIDS の発生頻度は、予防キャンペーンによって 1990 年代後半になってから、大幅に減少した事実は安定したものとなっており、米国では SIDS の発生頻度が 1991 年に全乳児死亡の 14.5% で第 2 位であったが、1996 年には 10.8% で 3 位となっている (3145)。また日本では、1995 年に ICD-10 を導入したことにより、SIDS の発生頻度は 3 位となっている (3141)。一方、予防キャンペーンが十分に行き渡らない社会経済的に貧困な階層に SIDS が局在するようになり、ニュージーランドでは、SIDS の 50% が 2 つの貧困地域に集中している (3187)。週末に多いか少ないかに関して、母親の教育歴が 12 年以下の場合は、オズ比が 1.19 と高まっているが、16 年以上の場合は 0.55 と SIDS の発生率が低くなっている。このことは、週末にどのように過ごすかが異なるためであり、SIDS の発生頻度のそのものが母親の教育レベルを含めた育児環境に大きな差を受

けることを示している (3160)。かつて、話題になった DPT ワクチンと SIDS の関係は否定されているが、米国で 1991 年から 1998 年まで 8,600 万人の新生児が HB のワクチンを受けたが、その中の 18 人の新生児が突然死亡しており、解剖された 12 名が SIDS と診断されている。しかし、その評価では HB ワクチンと SIDS の間に因果関係がないと結論されている (3142)。イギリスにおいて 1988 年から 1998 年の 10 年間に SIDS の発生頻度は 2.0 から 0.43 と 1/5 に減少しているが、そのほとんどが低所得階級に集中しており、そのグループへのキャンペーンの必要性が述べられている。

2. 診断

2001 年 1 月に発行された日本 SIDS 学会誌 (1 (1): 63-83 2001) に SIDS 診断の手引きが掲載され、乳幼児の突然死が 5 型に分類され、その各々の診断に関する主に病理学的所見と死亡現場の状況の評価が記載

されている (3255)。SIDS と他の疾患の鑑別に関しては、intra-alveolar hemorrhage の所見が見られた時は、気道閉塞の所見であり、SIDS よりも窒息の可能性が高いという病理所見のコメント (3116,3117, 3118) がある。窒息や虐待との鑑別 (3179) において解剖をしない場合には、SIDS の診断が正確にならないことは従来からである。専門家特に小児の病理学者の参加の重要性が言われ (3109)、また川口市立病院の乳児突然死のうち解剖された 1/3 が SIDS の以外の診断が判明している (3245)。このように SIDS の診断が難しいところから、SIDS という病名に対する否定的な意見として「Time to put cot death to bed」という意見 (3124) およびそれに反論する「Not time to put cot death to bed」 (3125) という論文で議論がなされている。

### 3. うつ伏せ寝と SIDS

うつ伏せ寝が SIDS と関係のあることは、歴史的な事実として証明されており、1960 年後半から 1970 年にかけてヨーロッパで学問的議論がなく、うつ伏せ寝が導入され SIDS が増えたのは医原性の悲劇であるという反省を述べる論文が見られている (3144)。うつ伏せ寝が SIDS のリスク因子であることは従来通りの意見であるが、(3161,3188, 3192,3222,3227,3235) さらに成熟児においては、うつ伏せ寝では、横隔膜の resting strength が低下し SIDS のリスク因子となる (3135)、末梢の血管抵抗が低下し血圧が低下することから SIDS のリスク因子になりやすい (3137)、うつ伏せ寝の方が吐乳がプールのように溜まって誤飲をしやすい (3180) など、医学的な観点からうつ伏せ寝そのもののマイナスの研究報告がいくつか出るようになった。さらにうつ伏せ寝は、成熟児以外の未熟児においても SIDS 予防になるかどうかに関しては、NICU を退院

した未熟児上がりの児は成熟児同様 SIDS のリスクが仰向け寝で軽減することが示されている (3163,3174,3193)。うつ伏せ寝に関して近年話題になっているのが、今まで仰向け寝であった子どもが慣れていないうつ伏せ寝になる (unaccustomed prone) ことがよりリスクが高くなるかの議論であり、ニュージーランドでは、SIDS の 20%が初めてうつ伏せ寝になった児であった (3141)。また、保育所の中で特に SIDS の発生が高い施設があり、その調査では仰向け寝の児がいつもと違ったうつ伏せ寝にされることが原因と考えられた (3162)。このようなデータから仰向け寝を進めるのみならず、寝返りによる secondary prone のリスクおよびいつも仰向け寝の子どもがうつ伏せ寝にされないようにすることのリスクを啓蒙する必要があるかも知れない。

### 4. 育児環境とその他のリスク因子

アメリカ小児科学会は、sleep to back キャンペーンの効果著しく 1998 年現在では、アメリカの子どもの 80%が仰向け寝となっている (3153)。さらに SIDS の発生頻度を下げるために、そのうつ伏せ寝を止める啓蒙に加え、柔らかいマットを使わない、ソファ等に寝かせない、通常は bed sharing をしない、暖めすぎをしない、さらに tummy time と呼び眠って居ないときに赤ちゃんを腹這いにして遊ばせて万が一のうつ伏せ寝に慣らして置くことなどきめ細かな勧告がなされている (3159)。添い寝に関しては、特に母親が煙草を吸っている場合を、リスク因子とするもの (3121,3122,3123)、SIDS を防ぐ効果があるとするもの (3192) など、意見が定まっていないが、SIDS の基本的病態が覚醒反応の遅延であるならば、親と一緒に寝ることは予防につながるはずである。しかし、添い寝をする相手が煙草を吸う人であったり、アルコールで酩酊していたり、

他の子どもであったりする危険、および大人の寝具に子どもが一人で寝かされる恐れがあることなどのマイナスがある。それゆえ、日本流に赤ちゃんの布団と両親の布団が川の字になって同じ部屋に寝るという room sharing が SIDS のリスクを下げるのに役立つことが十分考えられている。掛け布団 (duet) がリスクとなる (3139)。おしゃぶりが SIDS を少なくする効果がある (3164,3138)、などの論文も見られている。母親の煙草がリスクとなる (3134,3143, 3157,3166,3190) のは従来通りである。

#### 5. SIDS の病因・病態

これまでの研究の流れから、その中心は睡眠時無呼吸からの回復機構である覚醒反応の遅延とその原因となりうる中枢神経系の異常が研究の核であるが、SIDS と鑑別のために必要な乳幼児に突然の死をもたらす種々の疾患に関する多くの論文が見られている。

脂肪酸酸化酵素異常やミトコンドリアの異常が突然死をもたらす論文 (3104,3105, 3129,3151,3168,3221,3239,3248)、また胃・食道逆流と SIDS の関係 (117, 118) の論文がある。免疫や感染に関する項目としては、pneumocystis carinii infection (3126)、スパーアンティゲンとサイトカインの関与 (3181)、マストセルの関与 (3107,3127) などがある。心血管系においては、QT 延長症候群が前年度の論文で大きく取り上げられたが、今年度はあまり話題にならず (3170)、逆に新生児のスクリーニングをすることの経済性を含めた有用性に疑問が投げられている (3108)。頸動脈の内皮の肥厚が脳血流や自律神経系を介して、徐脈や無呼吸に関与する可能性が述べられている (3128)。その他循環器系の異常によって突然死亡した報告がいくつかあげられている (3183,3184,3185,3186,3191,3195,3246)。呼

吸器系においては、hemosiderosis と SIDS の関係においては、死に至るまでの低酸素症の関与が述べられており (3147)、肺神経内分泌細胞との関係 (3231,3241)、上気道の狭窄に関するもの (3235) があつた。中枢神経系特に呼吸循環器系の中核である脳幹部に関係した論文は多く、煙草との関係 (3112,3120)、Serotonin receptor に関して (3113,3114)、自律神経系に関与した神経病理学的な所見 (3152,3158,3197,3214, 3220,3230) などがある。生理学的な研究から、迷走神経の over activity (3119)、化学受容体と覚醒反応の関係 (3146,3215) がある。睡眠と SIDS に関する研究も興味のあるものがいくつかあり、メラトニンの分泌との関係 (3130)、睡眠のパターンと覚醒反応に関わる脚橋被蓋核のモノアミン系のバランスの乱れがノンレム睡眠期に SIDS をもたらしやすくなる可能性 (3232)、ノンレム睡眠期に中枢性無呼吸から引き続き深呼吸 (sigh) が起きにくくなるのが SIDS に関係するという論文 (3252) がある。未熟児と成熟児の arousal threshold を比較した研究によると、SIDS が起こりやすくなる 2~3 カ月では、ともに quiet sleep の時に active sleep の時よりも覚醒反応の threshold が高くなっていることが示されている。このことは、SIDS のなりやすい時期の未熟児・成熟児のリスク因子は変わらないが、ともに quiet sleep の時に覚醒反応が遅延しやすいことを示している (3169)。低酸素性呼吸抑制のメカニズムと SIDS の発生の関連 (3234)、睡眠時無呼吸 (obstructive sleep apnea) のある家系に SIDS や ALTE の頻度が高い (3106)、SIDS の発生頻度をみるとその原因は、常染色体優性の incomplete penetrance と推測される (3207) などの論文さえある。一時期マスコミを騒がした antimony と SIDS の関係は影をひそめ一つのみであつた (3136)。

## 6. SIDS のハイリスクスクリーニングおよびモニタリング

リスク因子からハイリスクを選び出す研究や生化学的・生理的データから SIDS を選び出すことの難しさから、それらに関する論文は影をひそめ、わずかに生後 6 週の体重増加不良が SIDS のチェックリストとなる (3133), ポリグラフによる検査 (3140), さらに新しい SIDS の危険因子のスクリーニングとして脳内セロトニン活性を調節している物質であるセロトニントランスポーターを遺伝子解析でスクリーニングする方法 (3251) などがあげられている。モニターに関しては、アメリカで大規模に行われた酸素飽和度・呼吸・心拍および児の睡眠姿勢を同時に測定する CHIME (collaborative home infant monitoring evaluation) study の結果が発表され、正常な新生児でも酸素飽和度が突然下がることがあること、年齢が若いほど多く、周期性呼吸や無呼吸がある時にみられ、通常の状態にも起こりうることを示されている。しかし、その有用性については研究されていない (3110,3111)。このように従来のモニターでは、SIDS の予防は不十分であり (3155)、近年その安定度が増してきたパルスオキシメーターをホームモニターに利用することによって、新たな方向が模索されている (3167)。その他記録を残すことの重要性 (3140)、テレメーターによる方法 (3173) など (3236,3247) がみられた。

## 7. 家族への支援

SIDS の家族への精神的な支援の文献はほとんどみられず (3194)、病院から退院後の SIDS 予防の教育 (3131,3132) やマイナーグループへの教育の重要性 (3178) が述べ

られている。SIDS に関連し、乳児の人工呼吸法に関し、これまでの口・口鼻への方法は、必ずしも蘇生者の口が児の鼻と口を覆うほど大きくないところから、また新生児および乳児においては、鼻からの陽圧呼吸の方が、より換気に有効である事実から、新しい人工呼吸法として、口・鼻呼吸の有用性が進められている (3237)。

SIDS 全体をカバーする総論として (3225, 3226,3229,3233,3241,3243,3253,3254) があり、さらに新生児に焦点を絞った SIDS の総説が (3223,3224,3228,3250) がある。

- 3102) A.S. Douglas, P.J. Helms, I.T. Jolliffe  
Seasonality, but not prevalence of sudden infant death syndrome varies by region in mainland Britain  
*Eur Respir J* 13(1):95-99 1999
- 3103) Nuoffer JM, de Lonlay P, Costa C, Roe CR, Chamoles N, Brivet M, Saudubray JM  
Familial neonatal SIDS revealing carnitine-acylcarnitine translocase deficiency.  
*European Journal of Pediatrics* 159(1-2):82-8 2000
- 3104) L'Hoir MP, Engelberts AC, van Well GT, Damste PH, Idema NK, Westers P, et al  
Dummy use, thumb sucking, mouth breathing and cot death  
*European Journal of Pediatrics* 158(11):896-90 1999
- 3105) Treacy EP, Lambert DM, Barnes R, Boriack RL, Vockley J, O'Brien LK, Jones PM, Bennett MJ  
Short-chain hydroxyacyl-coenzyme A dehydrogenase deficiency presenting as unexpected infant death: A family study.  
*Journal of Pediatrics* 137(2):257-61 2000
- 3106) McNamara F, Sullivan CE  
Obstructive sleep apnea in infants: relation to family history of sudden infant death syndrome, apparent life-threatening events, and obstructive sleep apnea.  
*Journal of Pediatrics* 136(3):318-21 2000
- 3107) Gold Y, Goldberg A, Sivan Y.  
Hyper-releasability of mast cells in family members of infants with sudden infant death syndrome and apparent life-threatening events  
*Journal of Pediatrics* 136(4):460-4 2000
- 3108) Zupancic JA, Triedman JK, Alexander M, Walsh EP, Richardson DK, Berul CI.  
Cost-effectiveness and implications of newborn screening for prolongation of QT interval for the prevention of sudden infant death syndrome.  
*Journal of Pediatrics* 136(4):481-6 2000
- 3109) Cote A, Russo P, Michaud J.  
Sudden unexpected deaths in infancy: what are the causes?  
*Journal of Pediatrics* 135(4):437-44 1999
- 3110) Carl E, Hunt, Michael R, Neuman, Howard J, Cabral  
Longitudinal assessment of hemoglobin oxygen saturation in healthy infants during the first 6 months of age  
*J pediatr* 134:580-586 1999
- 3111) Christian E, Poets  
Assessing oxygenation in healthy infants  
*J pediatr* 135(5):541-54 1999
- 3112) Tolcos M, McGregor H, Walker D, Rees S  
Chronic prenatal exposure to carbon monoxide results in a reduction in tyrosine hydroxylase-immunoreactivity and an increase in choline acetyltransferase-immunoreactivity in the fetal medulla: implications for Sudden Infant  
*J Neuropathol Exp Neurol* 59(3):218-24 2000
- 3113) Panigrahy A, Filiano J, Sleeper LA, Mandell F et al  
Decreased serotonergic receptor binding in rhombic lip-derived regions of the medulla oblongata in the sudden infant death syndrome  
*J Neuropathol Exp Neurol* 59(5):377-84 2000
- 3114) Loeliger M, Tolcos M, Leditschke J, Campbell P, Rees S  
Tracing cranial nerve pathways (glossopharyngeal, vagus, and hypoglossal) in SIDS and control infants: a DiI study  
*J Neuropathol Exp Neurol* 59(9):822-9 2000
- 3115) Macey PM, Schluter PJ, Ford RP  
Weather and the risk of sudden infant death syndrome: the effect of wind.  
*J Epidemiol Community Health* 54(5):333-6 2000
- 3116) Yukawa N, Carter N, Rutty G, Green MA  
Intra-alveolar haemorrhage in sudden infant death syndrome: a cause for concern?  
*Journal of Clinical Pathology* 52(8):581-7 1999
- 3117) Berry PJ.  
Intra-alveolar haemorrhage in sudden infant death syndrome: a cause for concern?  
*Journal of Clinical Pathology* 52(8):553-4 1999
- 3118) Batman P  
Re: Intra-alveolar haemorrhage in sudden infant death syndrome: a cause for concern?  
*Journal of Clinical Pathology* 53(6):484 2000
- 3119) Lucet V, de Bethmann O, Denjoy I  
Paroxysmal vagal overactivity, apparent life-threatening event and sudden infant death.  
*Biology of the Neonate* 78(1):1-7 2000
- 3120) Aubard Y, Magne I  
Carbon monoxide poisoning in pregnancy.  
*Br J Obstet Gynaecol* 107(7):833-4 2000
- 3121) Yamey G.  
New advice issued on prevention of sudden infant death  
*BMJ* 320(7231):336 2000
- 3122) Blair PS, Fleming PJ, Smith LJ, Platt MW, Young J, Nadin P, Berry PJ, Golding J.  
Babies sleeping with parents: case-control study of factors influencing the risk of the sudden infant death syndrome.  
*BMJ* 319(7223):1457-6 1999
- 3123) Mitchell E.  
Commentary: cot death—the story so far  
*BMJ* 319(7223):1461-4 1999
- 3124) M A Green  
Time to put "cot death" to bed?  
*BMJ* 319(11):697-698 1999
- 3125) Sylvia Limerick  
Not time to put cot death to bed  
*BMJ* 319(11):698-67 1999

- 3126) Vargas SL, Ponce CA, Hughes WT, Wakefield AE, Weitz JC, Donoso S, et al  
Association of primary *Pneumocystis carinii* infection and sudden infant death syndrome  
*Clinical Infectious Diseases* 29(6):1489-93 1999
- 3127) E.Edston, E.Gidlund, M.Wickman, H.Rimming et al  
Increased mast cell tryptase in sudden infant death - anapylaxis, hypoxia or artefact?  
*Clinical and Experimental Allergy* 29:1648-1654 1999
- 3128) Weninger WJ, Muller GB, Reiter C, Meng S, Rabl SU  
Intimal hyperplasia of the infant parasellar carotid artery: a potential developmental factor in atherosclerosis and SIDS  
*Circulation Research* 85(10):970-5 1999
- 3129) Bonnet D, Martin D, Pascale De Lonlay, Villain E, Jouvet P, Rabier D, Brivet M, Saudubray JM.  
Arrhythmias and conduction defects as presenting symptoms of fatty acid oxidation disorders in children.  
*Circulation* 100(22):2248-53 1999
- 3130) Sivan Y, Laudon M, Kuint J, Zisapel N  
Low melatonin production in infants with a life-threatening event.  
*Develop Med Child Neurology* 42(7):487-91 2000
- 3131) Nelson EA, Serra A, Cowan S, Mangiaterra V.  
Maternity advice survey: sleeping position in Eastern Europe.  
*Arch Dis Child* 83(4):304-6 2000
- 3132) Platt MW, Blair PS, Fleming PJ, Smith II, Cole TJ, Leach CE.  
A clinical comparison of SIDS and explained sudden infant deaths: how healthy and how normal?  
*Arch Dis Child* 82(2):98-106 2000
- 3133) Blair PS, Nadin P, Cole TJ, Fleming PJ, Smith II, Platt MW, Berry PJ, Golding J  
Weight gain and sudden infant death syndrome: changes in weight z scores may identify infants at increased risk  
*Arch Dis Child* 82(6):462-9 2000
- 3134) Wisborg K, Kesmodel U, Henriksen TB, Olsen SF, Secher NJ.  
A prospective study of smoking during pregnancy and SIDS  
*Arch Dis Child* 83(3):203-6 2000
- 3135) Rehan VK, Nakashima JM, Gutman A, Rubin LP, McCool PD  
Effects of the supine and prone position on diaphragm thickness in healthy term infants  
*Arch Dis Child* 83(3):234-8 2000
- 3136) Cullen A, Kiberd B, Devaney D, Gillan J, Kelehan P, Matthews TG et al  
Concentrations of antimony in infants dying from SIDS and infants dying from other causes.  
*Arch Dis Child* 82(3):244-7 2000
- 3137) Chong A, Murphy N, Matthews T.  
Effect of prone sleeping on circulatory control in infants.  
*Arch Dis Child* 82(3):253-6 2000
- 3138) Fleming PJ, Blair PS, Pollard K, Platt MW, Leach C, Smith I, Berry PJ, Golding J.  
Pacifier use and sudden infant death syndrome: results from the CESDI/SUDI case control study.  
*Arch Dis Child* 81(2):112-6 1999
- 3139) Mitchell EA, Williams SM, Taylor BJ  
Use of duvets and the risk of sudden infant death syndrome  
*Arch Dis Child* 81(2):117-9 1999
- 3140) H Daniels, G Naulaers, F Deroost, H Devlieger  
Polysomnography and home documented monitoring of cardiorespiratory pattern  
*Arch Dis Child* 81:434-436 1999
- 3141) Edwin A. Mitchell, John M.D. Thompson  
Changing Infant's Sleep Position Increases Risk of Sudden Infant Death Syndrome  
*Arch Pediatr Adolesc Med* 153:1136-1141 1999
- 3142) Niu MT, Salive ME, Ellenberg SS.  
Neonatal deaths after hepatitis B vaccine: the vaccine  
*Arch Pediatr Adolesc Med* 153(12):1279-82 1999
- 3143) Poole KA, Hallinan H, Beardsmore CS, Thompson JR  
Effect of maternal smoking on ventilatory responses to changes in inspired oxygen levels in infants  
*Am J Respir Crit Care Med* 162(3 Pt 1):801-7 2000
- 3144) Hogberg U, Bergstrom E  
Suffocated prone: the iatrogenic tragedy of SIDS.  
*Am J Public Health* 90(4):527-31 2000
- 3145) Kathryn A. Sowards,  
What is the Leading Cause of infant Mortality? A Note on the interpretation of Official Statistics  
*Am J Public Health* 89(11):1752-1754 1999
- 3146) Yu YH, Blessing WW  
Carotid and cardiopulmonary chemoreceptor activity increases hippocampal theta rhythm in conscious rabbits  
*Am J Physiol regulatory* 278(4):R973-979 2000
- 3147) Jackson CM, Gilliland MG  
Frequency of pulmonary hemosiderosis in Eastern North Carolina  
*Am J Forensic Med Pathol* 21(1):36-38 2000
- 3148) Byard RW  
Sudden infant death, large intestinal volvulus, and a duplication cyst of the terminal ileum  
*Am J Forensic Med Pathol* 21(1):62-64 2000

- 3149) Mallak CT. Milch KS. Horn DF  
A deadly anti-SIDS device  
*Am J Forensic Med Pathol* 21(1):79-82 2000
- 3150) Nishida H. Sawaguchi T  
Effect on the incidence of SIDS due to amendment of the death certificate form in Japan  
*Am J Forensic Med Pathol* 21(1):94-6 2000
- 3151) SH Opdal, TO Rognum, H Torgersen  
Mitochondrial DNA point mutations detected in four cases of sudden infant death syndrome  
*Acta p diatr* 88:957-960 1999
- 3152) Maturri L. Biondo B. Mercurio P. Rossi L  
Severe hypoplasia of medullary arcuate nucleus: quantitative analysis in sudden infant death syndrome.  
*Acta Neuropathologica* 99(4):371-5 2000
- 3153) Willinger M. Ko CW. Hoffman HJ. Kessler RC. Corwin MJ  
Factors associated with caregivers' choice of infant sleep position  
*JAMA* 283(16):2135-42 2000
- 3154) Henry F. Krous, Fern R. Hauck, Stanislaw M. Herman, et al  
Laryngeal Basement Membrane Thickening Is Not a Reliable Postmortem Marker for SIDS  
*Am J Forensic Med Pathol* 20(3):221-227 1999
- 3155) Joan E. Hodgman  
Apnea of Prematurity and Risk for SIDS  
*Pediatrics* 102(4):969-971 1998
- 3156) Larsen TB. Norgaard-Pedersen B. Lundemose JB. Rudiger N. Gaustadnes M. Brandslund I  
Sudden infant death syndrome, childhood thrombosis, and presence of genetic risk factors for thrombosis.  
*Thrombosis Research* 98(4):233-9 2000
- 3157) O.S.Bamford, J.L.Carroll  
Dynamic ventilatory responses in rats: normal development and effects of prenatal nicotine exposure  
*Respiration Physiology* 117:29-40 1999
- 3158) Harper RM. Kinney HC. Fleming PJ. Thach BT  
Sleep influences on homeostatic functions: implications for sudden infant death syndrome  
*Respiration Physiology* 119(2-3):123-32 2000
- 3159) John kattwinkel, John G.Brooks, Maurice E. keenan Michael Malloy  
Changing concepts of sudden infant death syndrome: implications for infant sleeping environment and sleep position.  
*Pediatrics* 105(3):650-6 2000
- 3160) P.S.Spiers, W.G.Guntheroth  
The Effect of the Weekend on the Risk of Sudden Infant Death Syndrome  
*Pediatrics* 104(5):1119-1120 1999
- 3161) Kemp JS. Unger B. Wilkins D. Psara RM. Ledbetter TL. Graham MA. Case M. Thach BT  
Unsafe sleep practices and an analysis of bedsharin among infants dying suddenly and unexpectedly: results of a four-year, population-based, death-sce investigation study of sudden infant death syndron and related deaths  
*Pediatrics* 106(3):E41 2000
- 3162) Moon RY. Patel KM. Shaefer SJ  
Sudden infant death syndrome in child care settings  
*Pediatrics* 106(2 Pt 1):295-300 2000
- 3163) Malloy MH. Freeman DH Jr  
Birth weight- and gestational age-specific sudden infant death syndrome mortality: United States, 1991 versus 1995.  
*Pediatrics*. 105(6):1227-31 2000
- 3164) Nelson EA. Schiefenhoeve! W. Haimerl F  
Child care practices in nonindustrialized societies.  
*Pediatrics* 105(6):E75 2000
- 3165) Carolan PL. Wheeler WB. Ross JD. Kemp RJ  
Potential to prevent carbon dioxide rebreathing of commercial products marketed to reduce sudden infant death syndrome risk.  
*Pediatrics* 105(4 Pt 1):774-9 2000
- 3166) Froen JF. Akre H. Stray-Pedersen B. Saugstad OD  
Adverse effects of nicotine and interleukin-1beta on autoresuscitation after apnea in piglets: implications for sudden infant death syndrome.  
*Pediatrics* 105(4):E52 2000
- 3167) Freed GE. Meny RG.  
Apnea of prematurity and risk for sudden infant death syndrome  
*Pediatrics* 104(2 Pt 1):297-8 1999
- 3168) Treluyer JM. Benech H. Colin I. Pruvost A. Cheron G. Cresteil T  
Ontogenesis of CYP2C-dependent arachidonic acid metabolism in the human liver: relationship with sudden infant death syndrome.  
*Pediatric Research* 47(5):677-83 2000
- 3169) Horne RS. Sly DJ. Cranage SM. Chau B. Adamson TM  
Effects of prematurity on arousal from sleep in the newborn infant  
*Pediatric Research* 47:468-474 2000
- 3170) Schwartz PJ. Priori SG. Dumaine R. Napolitano C. Antzelevitch C. Bloise R. Stramba-Badiale M. Richard TA. Berti MR.  
A molectular link between the sudden infant death syndrome and the long QT syndrome  
*England J Medicine* 343(4):262-7 2000
- 3171) P.M. Macey, J.S.J.li, R.P.K.Ford  
Deterministic properties of apnoeas in an abdominal breathing signal  
*Med. Biol.Engi.Comput* 37:335-343 1999

- 3172) Wuthrich B  
Lethal or life-threatening allergic reactions to food.  
*J Invest Allergol Clin Immuno* 10(2):59-65 2000
- 3173) Aly AF, Afchine D, Esser P, Joos M, Niewerth HJ, Wiater A, Meier M, et al  
Telemetry as a new concept in long term monitoring of SIDS-risk infant.  
*Eur J Med Res* 5(1):19-22 2000
- 3174) Sowter B, Doyle LW, Morley CJ, Altmann A, Halliday J.  
Is sudden infant death syndrome still more common in very low birthweight infants in the 1990s?  
*Medical Journal of Australia* 171(8):411-3 1999
- 3175) Ford RP, Schluter PJ, Cowan S  
Changes to infant sleep practices in Canterbury  
*New Zealand Medical Journal* 113(1102):8-10 2000
- 3176) Blatt SD, Meguid V, Church CC  
Sudden infant death syndrome and secretin treatment for autism  
*Current Opinion in Pediatrics* 12(2):179-83 2000
- 3177) Mitchell EA, Subramaniam K, Blackburn J, Shooter D.  
Plastic wrapping of cot mattresses: results from a pilot study.  
*New Zealand Medical Journal* 113(1115):326-7 2000
- 3178) Eades SJ, Read AW  
Infant care practices in a metropolitan aboriginal population Bibbulung Gnarneep Team.  
*J Paediatr. Child Health* 35(6):541-544 1999
- 3179) Byard R, Krous H.  
Suffocation, shaking or sudden infant death syndrome: can we tell the difference?  
*J Paediatr. Child Health* 35(5):432-433 1999
- 3180) Byard RW, Beal SM  
Gastric aspiration and sleeping position in infancy and early childhood.  
*J Paediatr. Child Health* 36(4):403-5 2000
- 3181) Lorin de la Grandmaison G, Dorandeu A, Carton M, Patey A, Durigon M.  
Increase of pulmonary density of macrophages in sudden infant death syndrome.  
*Forensic Science International* 104:179-187 1999
- 3182) Sawaguchi T, Fujita T, Sawaguchi A, Nishida H.  
The epidemiological study on registered cases of sudden infant death syndrome (SIDS) in Tokyo: examination of the effect of autopsy on diagnosis of SIDS and the mortality statistics in Japan.  
*Forensic Science International* 109(1):65-74 2000
- 3183) Dettmeyer R, Schlamann M, Madea B  
Immunohistochemical techniques improve the diagnosis of myocarditis in cases of suspected sudden infant death syndrome (SIDS).  
*Forensic Science International*. 105(2):83-94 1999
- 3184) Ottaviani G, Rossi L, Ramos SG, Matturri L.  
Pathology of the heart and conduction system in a case of sudden death due to a cardiac fibroma in a 6-month-old child.  
*Cardiovascular Pathology* 8(2):109-12 1999
- 3185) Matturri L, Ottaviani G, Ramos SG, Rossi L  
Sudden Infant Death Syndrome (SIDS): a study of cardiac conduction system  
*Cardiovascular Pathology*. 9(3):137-45 2000
- 3186) Anderson RH.  
Sudden and unexpected death in infancy and the conduction system of the heart  
*Cardiovascular Pathology* 9(3):147-8 2000
- 3187) Mitchell EA, Stewart AW, Crampton P, Salmond C  
Deprivation and sudden infant death syndrome  
*Social Science & Medicine* 51(1):147-50 2000
- 3188) Gibson E, Dembofsky CA, Rubin S, Greenspan JS  
Infant sleep position practices 2 years into the "back to sleep" campaign  
*Clinical Pediatrics* 39(5):285-9 2000
- 3189) Roger W Byard, Henry F Krous  
Petechial hemorrhages and unexpected infant death  
*Legal Medicine* 1:193-197 1999
- 3190) Tolcos M, Mallard C, McGregor H, Walker D, Rees S.  
Exposure to prenatal carbon monoxide and postnatal hyperthermia: short and long-term effects on neurochemicals and neuroglia in the developing brain.  
*Experimental Neurology* 162(2):235-46 2000
- 3191) Yasuhiro Aoki, Kiyoshi Saigusa, Yumi Nakayama  
Sudden infant death with anomalous origin of the left coronary artery from the pulmonary artery  
*Legal Medicine* 1:250-253 1999
- 3192) Toshiji Mukai, Naoshi Tamaki, Yoshinobu Sato, Youkichi Ohno, Tetsuji Miyazaki et al  
Sleeping environments as risk factors of sudden infant death syndrome in Japan  
*Legal Medicine* 1:18-24 1999
- 3193) Keene DJ, Wimmer JE Jr, Mathew OP.  
Does supine positioning increase apnea, bradycardia, and desaturation in preterm infants?  
*Journal of Perinatology* 20(1):17-20 2000
- 3194) Leitich H, Tiefenthaler M, Popow C, Seyfried-Holzer G, Urschitz M, Ipsiroglu OS, Pollak A.  
SIDS related anxiety--a risk factor analysis  
*Wien Klin Wochenschr* 112(5):216-20 2000
- 3195) Tirosh E, Becker T, Mansour Y, Cohen A, Jaffe M.  
Sleep position, bedding and heating practices in high- and low-risk ethnic groups  
*European J Epidemiology* 16(3):281-6 2000

- 3196) Mitchell EA  
SIDS: facts and controversies  
Medical Journal of Australia 173(4):175-6 2000
- 3197) Yoshiaki Saito, Masayuki Ito, Yuri Ozawa, Toshimasa Obonai, Yasutsugu Kobayashi et al  
Changes of neurotransmitters in the Brainstem of Patients with Respiratory-Pattern Disorders During Childhood  
Neuropediatrics 30:133-140 1999
- 3198) Meissner C. Minnasch P. Gafunbegete E. Reiter A. Gerling I. Oehmichen M.  
Sudden unexpected infant death due to fibroma of the heart.  
Journal of Forensic Sciences 45(3):731-3 2000
- 3199) Oehmichen M. Gerling I. Meissner C  
Petechiae of the baby's skin as differentiation symptom of infanticide versus SIDS  
Journal of Forensic Sciences 45(3):602-7 2000
- 3200) Dua AD, Raikar  
Polygraphic recordings of respiration in neonates: a pointer to SIDS?  
J Postgrad Med 43:61-63 1997
- 3201) Alm B. Norvenius SG. Wennergren G. Lagercrantz H. Helweg-Larsen K. Irgens LM  
Living conditions in early infancy in Denmark, Norway and Sweden 1992-95: results from the Nordic Epidemiological SIDS study.  
Acta Paediatrica 89(2):208-14 2000
- 3202) Thompson JM. Becroft DM. Mitchell EA  
Previous breastfeeding does not alter thymic size in infants dying of sudden infant death syndrome  
Acta Paediatrica 89(1):112-4 2000
- 3203) Prentice AM. Collinson AC  
Does breastfeeding increase thymus size?  
Acta Paediatrica 89(1):8-12 2000
- 3204) Reid G. Tervit H  
Sudden infant death syndrome: hypothalamic failure to sense elevated blood pyrogens  
Medical Hypotheses 54(1):84-90 2000
- 3205) Reid G  
Association of sudden infant death syndrome with grossly deranged iron metabolism and nitric oxide overload.  
Medical Hypotheses 54(1):137-9 2000
- 3206) Corbyn JA  
Mechanisms of sudden infant death and the contamination of inspired air with exhaled air.  
Medical Hypotheses 54(3):345-52 2000
- 3207) Lenoir Calenda P. Mallet E. Calenda E  
Siblings of sudden infant death syndrome and near miss in about 30 families: is there a genetic factor?  
Medical Hypotheses 54(3):408-11 2000
- 3208) Reid GM.  
Sudden infant death syndrome: a preconditioning approach to acute arterial hypoxemia.  
Medical Hypotheses 54(6):987-989 2000
- 3209)  
Progress in Reducing Risky Infant sleeping Positions-13 States, 1996-1997  
MMWR october 8, 878-882 1999
- 3210) Rosenberg KD  
Sudden infant death syndrome and co-sleeping  
Arch Pediatr Adolesc Med 154(5):529-30 2000
- 3211) McAfee T  
Bed sharing is not a "consumer product"  
Arch Pediatr Adolesc Med 154(5):530-1 2000
- 3212) Moore A. DeBelle G. Symonds L. Green A  
Investigation of sudden unexpected deaths in infancy  
Arch Dis Child 83(3):276-279 2000
- 3213) M. Mehanni M McDonnell, T. Matthews  
Infanticide or SIDS, double jeopardy  
Arch Dis Child 80:7-14 1999
- 3214) Toshiko Sawaguchi, Patricia Franco, Jose Groswasser, Masateru Takahashi et al  
Factors Related to the Autonomic Nervous System in Sudden Death of Adults and Infants -with Special Reference to the Circulatory System  
Acta Crim. Japon 66(2):56-68 2000
- 3215) Toshiko Sawaguchi, Yukiko Tedsuka  
The Physiological Definition of the Arousal Reaction in Infants in Reference to the Hypothesis of Defective Arousal Reaction in SIDS  
Res. Pract. Forens. Med 42:341-346 1999
- 3216) Klara Toro, Loretta Toth, Zsuzsanna Csukas, Ferenc Rozgonyi, Akiko Sawaguchi, Toshiko Sawaguchi  
Questionnaire-Based Study of SIDS Risk Factors in Healthy Infants  
Res. Pract. Forens. Med 42:347-352 1999
- 3217) Klara Toro, Akiko Sawaguchi, Toshiko Sawaguchi  
Research on Preventing the Occurrence of Sudden Infant Death Syndrome  
Acta Crim. Japon 65(6):241-243 1999
- 3218) Thach BT.  
Sudden infant death syndrome: can gastroesophageal reflux cause sudden infant death?  
Am J Med 108(4a):144S-148S 2000
- 3219) Amin RS  
Gastroesophageal reflux and infant apnea  
Journal of Pediatrics 137(3):298-300 2000

- 3220) 澤口聡子、バトリシア・フランコ、  
マーチン・ソシュエ、ジョセ・グロスワッサー、  
澤口彰子、アンドレ・カーン  
乳幼児の突然死における自律神経要因  
—循環器系を中心として—  
法医学の実際と研究 42 : 301-307 1999
- 3221) 山口清次  
乳児突然死症候群 (SIDS) と関連して注目されている  
先天代謝異常: ミトコンドリア脂肪酸β酸化異常症  
島根医学 19(3):1-10 1999
- 3222) 戸菊創、加藤稲子、斎藤紀子、竹内治志、宮口英樹  
SIDSと睡眠時体位  
第39回日本小児耳鼻咽喉科研究会雑誌 20(1):13-17 1999
- 3223) 仁志田博司  
周産期からの乳児突然死症候群 (SIDS) の予防に向けて  
周産期医学 30(1):89-93 2000
- 3224) 山南貞夫  
新生児期にみられる突然死  
周産期医学 29(12):1508-1511 1999
- 3225) 仁志田博司  
SIDS最近の進歩  
総合臨床 49(1):181-182 2000
- 3226) 河野朗久  
乳幼児の突然死に遭遇したとき  
小児科診療 63(3):327-334 2000
- 3227) 仁志田博司  
SIDSとうつ伏せ寝  
小児科診療 63(3):335-341 2000
- 3228) 山南貞夫  
新生児のSIDS  
小児科診療 63(3):342-346 2000
- 3229) 戸菊創、加藤稲子、斎藤紀子  
SIDS近縁疾患: ALTE, SAS, 窒息  
小児科診療 63(3):347-351 2000
- 3230) 高嶋幸男、小保内俊雅、小沢愉理  
脳幹の呼吸循環調整とSIDS  
小児科診療 63(3):357-360 2000
- 3231) 土井幹雄、丹野高三、大橋教良、相田久美、及川明奈、  
三澤京吉  
SIDSの肺病理  
小児科診療 63(3):361-365 2000
- 3232) 神山潤  
睡眠の発達とSIDS  
小児科診療 63(3):366-371 2000
- 3233) 加藤稲子、斎藤紀子、戸菊創  
SIDS発症前の呼吸機能の異常  
小児科診療 63(3):373-377 2000
- 3234) 松岡高史、関森みゆき、湯本敦子、依田達也  
低酸素時の呼吸反射とSIDS  
小児科診療 63(3):378-383 2000
- 3235) 市川光太郎、武田宏之  
咽頭構造の発達とSIDS  
—乳児咽頭の睡眠体位別月齢変化—  
小児科診療 63(3):384-389 2000
- 3236) 中川聡  
呼吸のモニタリングと効果  
小児科診療 63(3):391-394 2000
- 3237) 円山啓司  
乳児の人工呼吸法  
小児科診療 63(3):395-399 2000
- 3238) 山口清次  
先天代謝異常と突然死: その病態  
小児科診療 63(3):400-407 2000
- 3239) 水戸敬  
重症心身障害児の突然死  
小児科診療 63(3):409-412 2000
- 3240) 住友直方  
QT延長と乳幼児の突然死  
小児科診療 63(3):413-415 2000
- 3241) 澤口聡子、澤口彰子、Patricia Franco,  
Martine Sattiaux, Jose Groswasser, 他  
吹米におけるSIDS  
小児科診療 63(3):416-418 2000
- 3242) 斎藤義朗  
先天性中枢性低換気症候群  
小児科診療 63(3):419-422 2000
- 3243) 仁志田博司  
乳幼児突然死症候群  
小児内科 31:45-50 1999
- 3244) 仁志田博司  
新生児の寝かせ方  
産婦人科治療 80(5):483-487 2000
- 3245) 箕面将至宏、奥起久子、山南貞夫、大森多恵、  
小野真、高橋有紀子、田中秀朋、土野正浩、  
久手英二、小関一英、他  
埼玉県南部地区における乳幼児突然死症候群 (SIDS)  
の現状  
埼玉県医学会雑誌 34(1):166-170 1999
- 3246) 宮入烈、井原誠、保田由喜治、綾美咲、阿座上志郎、  
番場正博  
1ヶ月女児の心筋梗塞の1例  
小児科臨床 53:33-36 2000
- 3247) 増江道哉、飯田智子、長瀬朋子、岡本博之  
乳児用呼吸モニター (ベビーセンス™) が有用で  
あった乳幼児突発性危急事態 (ALTE) の2例  
小児科臨床 53:425-428 2000
- 3248) 伊賀三佐子、木村正彦、山口清次  
乳幼児の突然死と先天代謝異常症  
小児科 40(13):1743-1751 1999
- 3249) 市川光太郎、芳澤志保  
低血糖と早した小児の来院時心肺機能停止症例の  
検討  
小児科診療 63(7):1091-1095 2000
- 3250) 山南貞夫  
新生児SIDS  
小児科診療 62(11):1690-1694 1999

- 3251) 成田奈緒子、成田正明、高嶋幸男、中山雅弘、  
永井俊郎、岡戸信男  
SIDS発症の新しい危険因子としてのセロトニン  
トランスポーター遺伝子多型  
脳と発達32:S247 2000
- 3252) 福水道郎、下平雅之、長谷川毅、神山潤  
岩川善英  
小児における睡眠時の中枢性呼吸休止と深呼吸の  
関係  
脳波と筋電図27(5):413-420 1999
- 3253) 仁志田博司  
乳幼児突然死症候群 (SIDS) について  
日医雑誌122(4):591-596 1999
- 3254) 舟山眞人、金武潤、美作宗太郎  
解剖医の立場からみた乳児突然死の問題点  
日本醫事新報3939:41-43 1999
- 3255) 中山雅弘  
SIDSの病理と診断  
小児科診療63(3):352-356 2000